

「スター・ウォーズエピソード1」をおさえ、 怒涛の勢いで全米初登場第1位! 噂の 〈メイク・ドラマなノンストップ子育てエンタテインメント〉 遂に日本上陸!!

もし、親を選べるなら…。 こんなダディだったら サイコーじゃん!?

法学部を卒業しながら、定職にもつかず、プータロー生活をエンジョイするお気楽青年ソニー(アダム・サンドラー)。同級生たちはとつくの昔に社会人として出世コースをひた走っているというのに、キャリアにもマイホームにも興味がない彼は、32歳に

もなっていまだにヒマ人。 高速道路の料金所で

たまにバイトを

するほかは、 ひたすら宅 配フードと

> テレビの スポーツ 番組漬 けの毎日。

けの毎日。 そんない つまでも

いなソニーは、 とうとう恋人の バネッサ(クリス

子供みた

ティ・スワンソン)に愛想 を尽かされ、「もっとオトナに

なれ!」とフラれてしまう…。そんな時、ルームメイ トで学生時代の親友ケビン(ジョン・スチュワート) を訪ねて、幼い少年ジュリアン(コール&ディラン・ スプラウス)が彼の所にやってくる。どうやら、ケビ ンがかつて一夜を共にした相手との"隠し子"ら しい。そこでソニーはジュリアンを引き取って育 てることで、フラれた恋人に自分のオトナぶりを証 明しようと考えた!? すぐにその考えが甘かったこ とに気付いたものの、後の祭り。面倒をみなけれ ばならない5才の少年がいつもそばにいる。おま けに、仲直りを期待していたバネッサはさっさと 新しい恋人をつくってしまっていて、子連れのソニ ーなど見向きもしない…。覚悟!?を決め、違法労 働者やゲイのカップルといったユニークな友人達 も巻き込んで、超自分流に常識はずれの子育てに 奮戦するソニーと、やんちゃ&無邪気についていく ジュリアン。やがて、気がつけば、それは誰にも邪魔 することのできない不思議な父子関係に発展し ていた…!!

「ビッグ・ダディ」の 子育て10ヶ条



Q:子供がオネショをしたり、 床にミルクをこぼしたりした時は?

A:新聞紙をかぶせて放っておく。

Q:ローラーブレードで 遊んでいる奴を見かけたら?

A:棒を置いてコケさせる。

Q:道を歩いていて急に オシッコをしたくなったら?

A:迷わず立ちション。

Q:買い物代を節約する方法は?

A:缶詰はへこませれば半額になる。

Q:腹が減ったら?

A:スナック菓子を好きなだけ。



Q:子供の名前?

A:本人に好きに選ばせる。

Q:学校は?

A: 行きたくなったら行けばいい。

Q:子供が寝るときこわがったら?

A:風俗ライトで部屋を明るく。

Q:ベビーシッターは?

A: 学生時代の友人、ゲイのカップル。

Q:共通の遊び友達は?

A: 違法労働者のロシア人配達人。



まだ知らないなんてオクれてる!! あのトム・クルーズを超える人気で、 全米大ブレイク中、 アダム・サンドラーを"要チェック"!!

退屈な常識に捕らわれない、"COOL"な新世紀の 父子関係を演じるのは、全米大ブレイク中で、今 やあのトム・クルーズと1作の出演料が同額!と言 われる注目度No.1の個性派アダム・サンドラーと、 全米1億人を笑って泣かせた、めちゃめちゃキュー トな双子の兄弟コール&ディラン・スプラウス。「ウ ェディング・シンガー」「ウォーターボーイ」と、この ところ立て続けに話題作に主演しているアダム・サ ンドラーは、本作での一見ブッ飛んでいるようで、 実はナチュラル(自然体)という天才的な演技によ って、すでに全米では批評家/観客の両方から圧倒 的な支持と人気を集めている。今後、日本でもブ レイクすること間違いなしの"要チェック"な存在だ また、"誰にも見分けられない!?"と評判になった、 コール&ディラン・スプラウスの双子の兄弟による 二人一役のトリックにも注目してほしい。その他 しっかりと脇をかためるのは、全米批評家絶賛の お馴染みの演技派スティーブ・ブシェーミと「チェ イシング・エイミー」でゴールデン・グローブ賞主演 女優賞にノミネートされたジョーイ・ローレン・ア ダムズを始め、ジョン・スチュワート(「パラサイト」)、 レスリー・マン(「ジャングル・ジョージ」)、ロブ・シ ュナイダー(「ホーム・アローン2」)、アレン・コバー ト(「25年目のキス」)といった、サンドラー・ファミ リーとも言うべき仲間

リーとも言うべき(たち。"気心の知れた仲間たちと、批評家よりも、観客よりも、まずは自分たちが面白いと思える作品を!"という心意気によって作られた

本作には、SFX大作やナンセンス・ギャグにはない奥ゆきと暖かみが生まれ、結果的には、「スター・ウォーズ、エピソード1」「オースティン・パワーズ:デラックス」といった話題作・超大作をおさえ、全米初登場1位の大ヒットを記録したのである。

2000年陽春全国東宝洋画系にてロードショー!